

ONJUKU

おんじゆく

広報

No.69

昭和43年12月

千葉県御宿町役場 発行

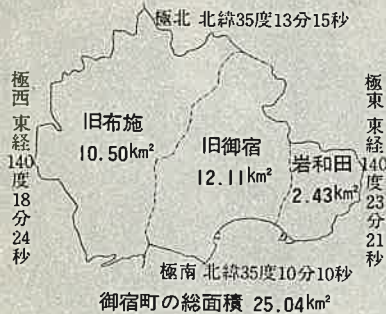


みんなてつづいた汽車ほっほ 仲よくトンネルくぐりましょうー岩和田保育園で

●はじめに

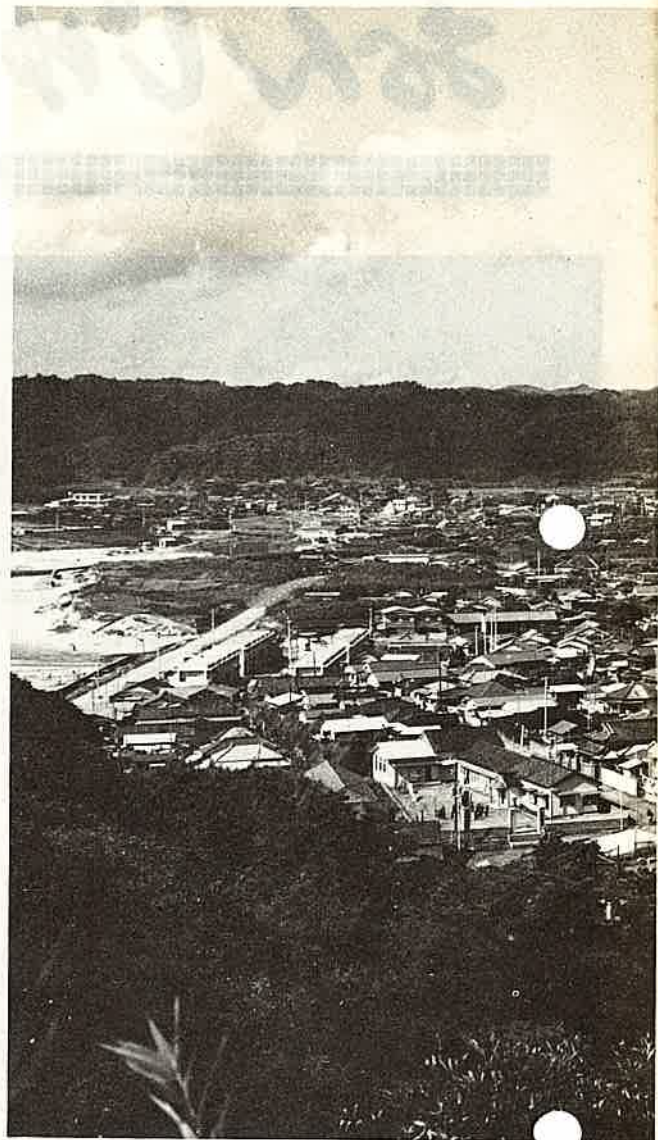
みなさんに町の姿を知っていただくために毎年1回町勢特集号を発行しています。

数字がいっぱいで、ちょっと見づらいかもわかりませんが、みなさんと深い関係がありますので、この数字の中からいろいろなことを吸み取っていただきたいと思います。



もくじ

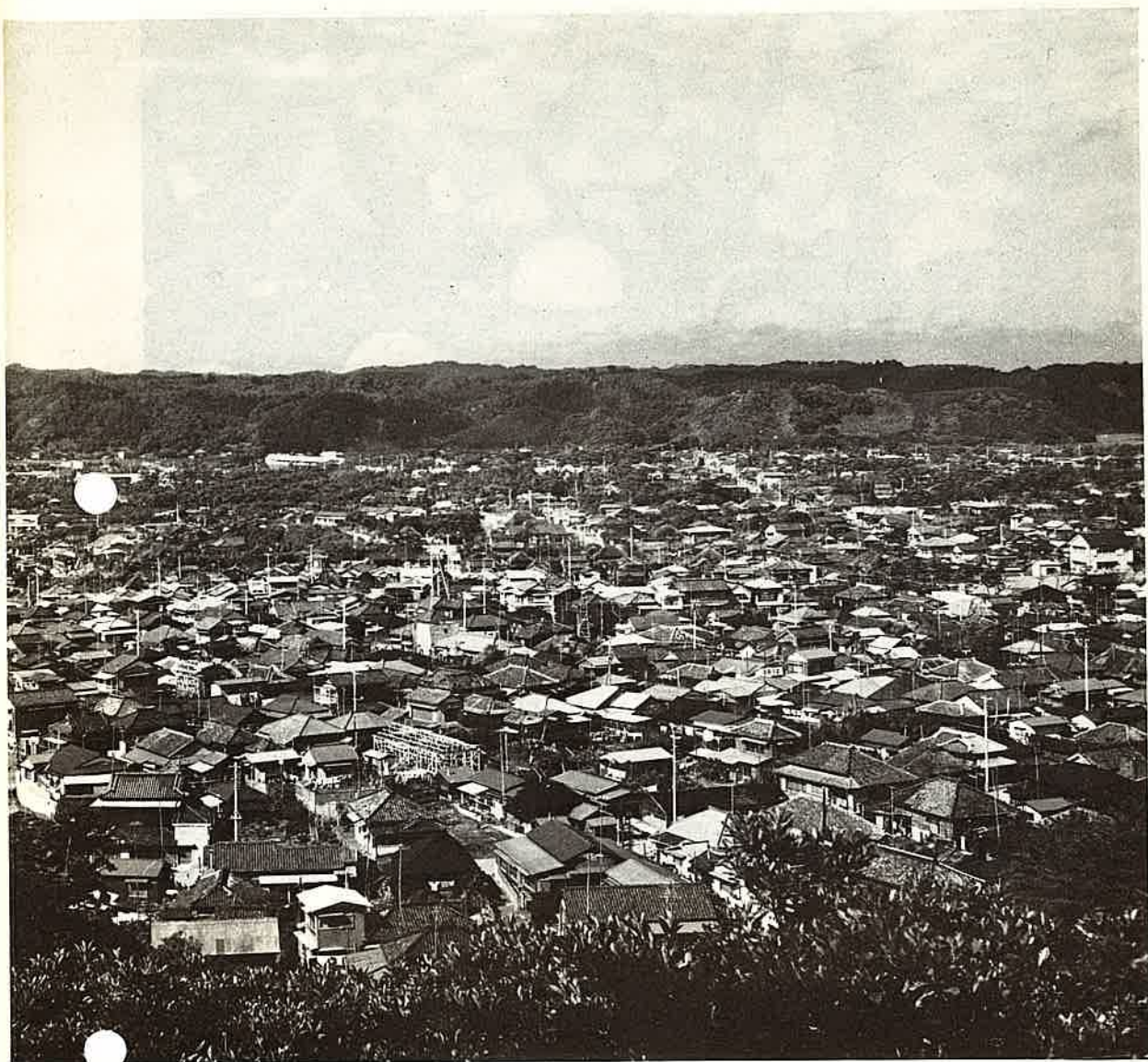
位置と面積	2
町のあゆみ	2～3
人 口	4～5
財 政	6～7
農 業	8～9
漁 業	10～11
商 工 業	12～13
教 育	14～15
民生・衛生	16～17
運輸・通信	18～19
観 光	20
御宿の100年	21～23
ダイジェスト	
町民の生活	24



町のあゆみ

御宿町は大正3年に町政を施行して御宿町となりましたが、それ以前は御宿村といい、また明治維新より以前は御宿郷といわれていました。

御宿郷は浜、須賀、久保、六軒町、高山田、西林寺の7部落を併せて総称したのですが、慶長2年の御宿郷縄打帳、すなわち検地帳による



と、当時御宿郷は、浜村、久保村、高山田村、西林寺村の四部落であったと記されています。須賀および、六軒町、新町がそれぞれ御宿郷の部落としてできたのは慶長よりもっと後、明暦以降のことです。

「御宿」という名称については昔北条時頼が諸国行脚の際たまたま当地に立ち寄られ、あまりにも景色がよいので一泊されました。

それに因んで詠んだ歌に、

御宿せしそのときより人とはば
網代の海に夕影の松

という古歌があり、その歌の「御宿」がそのまま地名になったと伝えられておりますが、はっきりとした文献があるわけではありません。

かくて昭和30年3月、布施村の一半と浪花村岩和田地区と町村合併を行ない、新しい御宿町が誕生しました。そして現在は観光の町としてたゆみない発展をづけています。



第3次への移行目立つ

昭和43年10月末現在の本町人口は8,564人(推計)で、昭和30年の合併以来一度も増加することなく、減少の一途をたどっています。

これは自然動態(出生-死亡)によるわずかな増加を社会動態(転入-転出)における転出人口がはるかに上まわるためです。

昭和40年国勢調査による男女15才以上の就業者は、3,758人でこれを産業別に見ると、第1次産業が42パーセント、第2次産業が20パーセント、第3次産業が38パーセントで昭和35年より第一次産業が減少(10パーセント減)し、第2次産業(4パーセント増)と第3次産業(6パーセント増)への就業者が増加しています。

□人口の推移

年次	世帯数	人口			前年に対する増減	女100対する男	1世帯平均員	人口密度 1km ²	面積 km ²	摘要
		総数	男	女						
昭和30年	2,022	9,753	4,519	5,234		86.3	4.8	389	25.04	国勢調査布 岩和田合併 国勢調査 推計
35	2,047	9,273	4,313	4,960	△ 480	87.0	4.5	370	"	
40	2,068	8,815	4,053	4,762	△ 458	85.1	4.3	352	"	
41	2,083	8,703	4,028	4,675	△ 112	86.2	4.2	348	"	
42	2,090	8,678	4,008	4,670	△ 25	85.8	4.2	347	"	
43	2,105	8,564	3,945	4,619	△ 114	85.4	4.1	342	"	

□人口動態(年次別)

年次	自然動態						社会動態		
	出生	死亡	自然増減 出生-死亡	死産	婚姻	離婚	転入	転出	社会動態
昭和30年	184	74	110	19	68	9	484	784	△ 300
35	150	99	51	10	65	2	297	418	△ 121
40	132	91	41	19	254	9	221	353	△ 132
41	92	84	6	12	214	17	271	360	△ 89
42	121	102	19	4	214	17	334	408	△ 74

□地区別世帯数と人口

(昭和40年10月1日現在)

部落名	世帯主	人口		
		男	女	計
須賀	285	506	592	1,098
浜	219	420	545	965
高山田	74	190	186	376
久保	183	354	434	788
新町	370	673	806	1,479
六軒町	208	361	421	782
小計	1,339	2,504	2,984	5,488
立山	37	87	106	193
小幡	49	125	127	252
新久井	54	132	143	275
新宿	48	101	108	209
小計	188	445	484	929
実谷上	39	84	101	185
中	37	76	88	164
下	32	75	78	153
七本	27	71	64	135
小計	135	306	331	637
入宿	99	198	237	435
中宿	55	107	142	249
下宿	50	103	120	223
後宿	115	217	264	481
扇町	87	173	200	373
小計	406	798	963	1,761
合計	2,068	4,053	4,762	8,815

□産業・男女別15才以上就業者数

(40年国勢調査)

産業	男女の別		総数	男	女
	男	女			
I 農業			1,137	496	641
II 林業・狩猟業			2	2	0
III 漁業・水産養殖業			440	421	19
IV 鉱業			3	2	1
V 建設業			289	253	36
VI 製造業			472	270	202
VII 卸売業・小売業			539	262	277
VIII 金融・保険・不動産業			43	27	16
IX 運輸・通信業			237	193	44
X 電気・ガス・水道業			11	9	2
XI サービス業			485	229	256
XII 公務			99	87	12
XIII 分類不能の産業			1	0	1
			3,758	2,251	1,507



一般会計 1億8,285万円に

昭和43年度本町一般会計の総予算額は1億8,285万円となりました。

このうち一番大きいのは農林水産業費で全体の20パーセントを占めています。次いで総務費、土木費、教育費の順となっており、町の基幹産業である農、漁業の振興と道路整備に重点が置かれています。

一方、入方では地方交付税（国から町へくれる金）が29.9パーセントで第1位。このほか、国県支出金が17パーセント。町有財産売却による財産収入が16パーセント、町税が19パーセントで毎年のことながら国や県への依存度が高くなっています。

昭和42年度決算による住民負担の状況を見ると、1世帯当りの税金は17,549円、町民1人当りは4,238円となっています。

昭和43年度一般会計歳入歳出予算 〔歳入〕

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比較		百分率 %
			増	減	
1町税	34,724	28,781	5,943		19.0
2地方交付税	54,640	46,000	8,640		29.9
3分担金及負担金	4,508	4,400	108		2.5
4使用料及手数料	3,104	3,315		211	1.7
5国庫支出金	16,836	27,682		10,846	9.0
6県支出金	15,462	8,705	6,757		8.5
7財産収入	29,168	31,214		2,046	16.0
8寄附金	5	105		100	
9繰入金	0	29,770		29,770	
10繰越金	4,000	4,000			2.2
11諸収入	3,003	3,188		185	1.7
12町債	17,400	26,900		9,500	9.5
計	182,850	214,060	21,448	52,658	100

〔歳出〕

(単位 千円)

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比較		百分率 %	特定財源			一般財源
			増	減		国	県	地方債	
1議会費	4,199	3,630	569		2.3				4,199
2総務費	34,415	27,071	7,344		18.8	796	400	6,493	26,746
3民生費	18,026	14,075	3,951		9.9	7,406		2,710	7,910
4衛生費	6,259	4,258	2,001		3.4	365		1,945	3,949
5労働費	2,283	1,974	309		1.2	933			1,350
6農林・水産業費	37,995	33,961	4,034		20.8	20,376	4,000	7,351	6,268
7商工費	9,789	5,588	4,201		5.4	600		3,950	5,239
8土木費	30,378	13,246	17,132		16.6	360	13,000	14,042	2,976
9消防費	8,199	7,692	507		4.5	100		790	7,306
10教育費	19,286	93,337		74,051	10.5	881		74	18,331
11公債費	11,621	8,826	2,795		6.4	501		1,054	10,066
12諸支出金	0	102		102					
13予備費	400	300	100		0.2				400
計	182,850	214,060	42,943	74,153	100	32,298	17,400	38,409	94,743

◆昭和42年度決算
〔歳入〕

款	収入済額	構成費%
1 町 税	36,713	12.5
1~2臨時地方特例交付金	291	0.1
2 地 方 交 付 税	61,337	20.8
3 分 担 金 及 負 担 金	6,792	2.3
4 使 用 料	3,649	1.2
5 国 庫 支 出 金	27,417	9.3
6 県 支 出 金	36,083	12.2
7 財 産 収 入	46,254	15.7
8 寄 附 金	7,658	2.6
9 繰 入 金	29,770	10.1
10 繰 越 金	9,171	3.1
11 諸 収 入	3,328	1.1
12 町 債	26,700	9.0
歳 入 総 額	295,163	100.0

〔歳出〕 (単位 千円)

款	支出済額	構成比%
1 議 会 費	4,436	1.6
2 総 務 費	29,689	10.6
3 民 生 費	20,807	7.4
4 衛 生 費	5,124	1.8
5 労 働 費	1,825	0.6
6 農 林・水産業費	62,678	22.3
7 商 工 費	6,927	2.5
8 土 木 費	24,289	8.7
9 消 防 費	7,890	2.8
10 教 育 費	102,553	36.6
11 公 債 費	8,769	3.1
12 諸 支 出 金	5,500	2.0
歳 出 総 額	280,487	100.0

◆徴収状況 (昭和42年度)

税目別	調定額	徴収額	徴収率
総 額	37,059	36,713	99.1%
町 民 税	9,628	9,628	100.0
固定資産額	14,369	14,049	97.8
軽自動車税	1,146	1,120	97.7
たばこ消費税	9,315	9,315	100.0
電気ガス税	2,569	2,569	100.0
木材引取税	32	32	100.0

◆町民負担の状況

区分 年度	町税総額 千円	一世帯当 り負担額 円	一人当り 負担額 円	備考
年				滞納繰越金を除きタバコ・電気ガス税等を
30	13,618	6,753	1,396	
31	14,262	7,053	1,452	
32	15,119	7,477	1,550	
33	15,040	7,438	1,542	
34	14,883	7,311	1,526	
35	15,166	7,408	1,635	
36	17,467	8,537	1,903	
37	20,146	9,827	2,205	
38	21,712	10,591	2,399	
39	24,692	12,004	2,756	
40	27,435	13,266	3,112	
41	30,330	14,561	3,485	
42	36,713	17,549	4,238	

◆税収入額の累年比較 (単位 千円)

年度	調定額	徴収額	欠損額	徴収率
30	16,905	13,210	0	78.1
31	17,623	14,730	0	83.6
32	18,012	14,959	785	83.1
33	17,303	14,921	303	86.2
34	17,367	15,576	0	89.7
35	17,846	16,181	64	90.7
36	19,022	17,552	42	92.3
37	21,582	20,245	28	93.8
38	23,010	21,668	85	94.2
39	25,903	25,207	0	97.3
40	28,131	27,585	0	98.1
41	30,884	30,749	0	99.6
42	37,059	36,713	0	99.1

◆納税組合の状況

区 別	世帯数	加 入 世帯数	加入割合
須 賀	240	174	73%
浜	225	175	78
高山田	75	74	99
久 保	178	128	72
新 町	326	205	63
六 軒 町	194	117	60
岩 和 田	397	302	76
実 谷	137	125	91
上 布 施	178	168	94
計	1,950	1,468	78

◎ 世帯数は納税世帯数のみ。



農 業

兼業が93パーセントに

昭和43年2月1日現在の農家数（経営耕地面積10アール以上）は665戸で経営耕地面積は田34,959アール、畑8,128アール、果樹園628アールとなっています。

農家1戸当りの耕地面積は田が52アール、畑は12アールと少なく、100アール以上の耕地を経営する農家は175戸で全体の26パーセント。そして専業農家は少なく、93パーセントが兼業農家です。

主要作物収穫面積の累年比較

	水 稻	大 麦	甘 藷
昭和31年	33,930	8,170	3,340
32	33,810	7,370	3,080
33	33,830	7,020	2,880
34	33,690	6,060	2,400
35	33,850	6,230	2,780
36	33,680	5,220	2,260
37	33,530	3,740	1,970
38	33,090	3,200	1,930
39	33,060	2,980	1,810
40	32,835	2,438	1,629
41	32,537	2,529	1,730
42	32,253	2,053	1,603

農用機械種類別所有数

(単位 台)

	動力耕運機		発動機	電動機	動力脱穀機		動力 粃摺機	動力 噴霧機	動力 撒粉機	農用 トラクター ・オート 三輪	穀類 乾燥機
	駆動型	索引型			普通型	全自動					
昭和 35年	4	52	230	86	303		77	1	1	5	
40		259			304	68		7	6	8	254
42		284			256	112		7	6	11	293
43	2	286						4	24	17	301

(数字のないのはその年度に調査しなかったため)

◆経営耕地規模別農家

(単位 戸)

	総 数	アール 10～30 (1反～3反)	アール 30～50 (3反～5反)	アール 50～100 (5反～1町)	アール 100～150 (1町～1.5町)	アール 150以上 (1.5町以上)	例外規定
昭和31年	772	242	136	226	153	15	12
35	745	221	123	215	157	17	6
40	685	202	102	196	151	28	6
41	676	201	100	195	150	27	3
42	671	199	103	190	150	26	3
43	665	194	107	187	148	27	2

◆専業、兼業別農家数

(単位 戸)

部 落 名	昭 和 39 年					昭 和 43 年				
	総 数	専 業	兼 業			総 数	専 業	兼 業		
			総 数	第一種 兼 業	第二種 兼 業			総 数	第一種 兼 業	第二種 兼 業
総 数	695	105	590	254	336	665	46	619	278	341
御 宿	316	37	279	94	185	295	15	280	98	182
布 施	276	66	210	160	50	271	30	241	180	61
岩 和 田	103	2	101		101	99	1	98		98

◆耕地の広狭別経営面積

(単位 アール) 昭和43年2月1日現在

	農家数	総 数	耕 地 面 積					
			田		果 樹 園		普 通 畑	
			農家数	面 積	農家数	面 積	農家数	面 積
10～30アール (1反～3反)	194	194	170	2,738			118	923
30～50アール (3反～5反)	107	107	107	3,344	4	15	92	823
50～70アール (5反～7反)	75	75	75	3,528	2	6	75	871
70～100アール (7反～1町)	112	112	112	7,498	20	115	112	1,821
100～150アール (1町～1.5町)	148	148	148	14,138	42	353	146	3,133
150～200アール (1.5町～2町)	27	27	27	3,713	9	139	27	557
200～300アール (2町～3町)								
例 外 規 定	2							
総 数	665	663	639	34,959	77	628	570	8,128



着実に伸びる漁獲高

漁業従事世帯のほとんどが兼業を営んでおり、専業は少ない。

経営規模も小さく、漁業の97パーセントが5トン未満で全部が沿岸漁業です。

漁獲のおもなものは、サバ、イカ、メダイ、それに特殊なものでは、アワビ、サザエなどで昨年（42年）の総水揚高は2億8,428万5千円で漁獲高は年々着実に伸びています。漁港の整備、漁礁の投入による磯根漁場の整備と相まって、漁船の近代化も急速に進んでいます。

◆漁業別水揚量

(単位 トン)

種 別	昭 和 40 年			昭 和 41 年			昭 和 42 年		
	計	岩和田	御 宿	計	岩和田	御 宿	計	岩和田	御 宿
二そうまき	540		540	220		220	267		267
あぐり巾着網	90	5	85	36	6	30	21	8	13
さば釣	272	197	75	756	550	206	983	849	134
いか釣	46		46	121		121	570	463	107
その他の釣	171	145	26	82	42	40	108	55	53
その他の延縄	63	60	3	56	54	2	225	207	18
地びき網	-	-	-	-	-	-	-	-	-
採 貝	93	79	14	112	96	16	85	67	18
採 藻	609	537	72	521	457	64	376	237	139
突 棒				1		1	2	1	1
その他の漁業	155	155		349	349		387	49	338
総 計	2,039	1,178	861	2,254	1,554	700	3,020	1,932	1,088

◆おもな魚種別水揚量 (単位 トン)

魚種別	組 合 別		
	計	御 宿	岩和田
た い	23	2	21
ひらめ	20	7	13
さば	983	134	849
ぶり	40	1	39
いか	570	107	463
かつお	4	2	2
いなだ	13	13	-
めだい	204	18	186
石もち	4	4	-
さめ	1	1	-
鮑	78	15	63
さばえ	5	1	4
雑魚	130	72	58
鰯	300	300	-
計	2,375	677	1,698

◆漁船隻数 注：動力船5トン未満の中に船外機船を含む。

年次	総 数	無 動 力 船	動 力 船				
			総 数	5t未満	5~10	10~20	20~30
31	220	143	77	56	6	9	6
37	252	9	243	225	4	8	6
40	239	6	233	224	2	4	3
41	266	5	261	255	1	4	1
42	283	1	282	275	1	3	3
43	305	1	304	297	1	3	3

◆年次別組合別水揚高

(単位 千円)

種 別	昭 和 40 年			昭 和 41 年			昭 和 43 年		
	計	岩和田	御 宿	計	岩和田	御 宿	計	岩和田	御 宿
魚 類	150,812	102,972	47,840	171,784	128,145	43,639	204,584	158,628	45,956
貝 類	64,372	53,996	10,376	77,246	65,102	12,144	74,657	59,672	14,985
藻 類	4,230	3,403	827	3,689	3,317	372	5,044	4,056	988
計	219,414	160,371	59,043	252,719	196,564	56,155	284,285	222,356	61,929



商工業

売場面積ふえる

(商業)

飲食店を含む本町の商店数は 191店 で年間販売額は 9 億 5,776 万円です。

この 10 数年間商店数はほとんどかわらないが、店舗の改増築により、売場面積は 50 パーセント近く増えています。

大幅に伸びる生産額

(工業)

石綿、電気、機械工場の誘致により工業生産額は大幅な伸びを示しています。

昭和 42 年の工場数は 47。従業員は 495 人で生産額は 6 億 184 万円となっています。

◆年次別商店数・従業者数・販売額

年次	商店数	従業者数	販売額		手数料サービス料収入	商品手持額	売場面積(平方米)	営業支出額
			月間	年間				
年	店	人	千円	千円	千円	千円	m ²	千円
33	181	405	26,568	303,720	2,973	37,996	3,517	17,437
35	196	453	29,493	366,250	3,187	38,059	4,527	20,198
37	179	411	40,740	455,880	2,440	58,640	5,066	32,940
39	170	382	51,795	595,996	3,282	76,279	4,002	50,071
41	188	443	69,530	838,930	4,600	84,210	3,629	64,090
42	172	420	85,290	957,760	10,670	125,030	5,277	—

◆昭和42年商業調査・産業別商店数・従業者数・販売額 (中分類) 金額単位 万円

対象業種	商店数	従業者数	売場面積 (平方メートル)	月間販売額 (42年6月)	年間販売額 (41.7~42.6)	商品手持額 (6.31現在)	代理・仲立手数料収入	修理料 サービス 料収入
一般卸売業	8	29	199	1,161	14,007	708		9
代理商仲立業	1	1			12			
織物・衣服・身の廻り品小売業	22	57	1,018	1,465	17,486	4,964		72
飲食料品小売業	92	201	2,370	3,562	37,318	2,846		28
自転車荷車小売業	5	9	140	166	1,919	332		194
家具建具・什器小売業	17	41	568	549	6,642	1,130		81
その他の小売業	27	82	982	1,626	18,392	2,523		683
総数	172	420	5,277	8,529	95,776	12,503		1,067
飲食店	19	50				3,257		

◆年次別工場数・従業者数・製造品出荷額 注：38年調査には自動車修理業を含む

年次	組織別事業所数			従業者数			製造品出荷額 (千円)			
	計	法人	個人	計	常用労働者数	業主及び家族従業者	計	製造品出荷額	加工賃収入額	修理料その他
昭和30年	58	14	44	226	121	105	231,969	228,684	1,827	1,458
31	58	14	44	366	41	325	194,443	191,205	2,223	1,015
32	60	16	44	387	293	94	264,879	261,432	2,941	506
33	61	16	45	410	301	109	290,070	285,880	3,282	908
34	59	16	43	377	282	95	286,725	282,302	3,734	689
35	60	13	47	351	258	93	257,151	251,374	4,857	920
36	57	14	43	365	276	89	288,295	280,703	6,742	850
37	53	14	39	334	257	77	335,600	327,020	5,820	2,760
38	59	17	42	418	331	87	416,070	408,290	4,240	3,540
39	51	17	34	515	444	71	557,750	548,960	8,490	300
40	50	4	46	470	399	71	516,900	509,650	6,800	450
41	46	4	42	457	386	71	506,380	497,240	9,140	
42	47	17	32	495	421	74	601,840	577,100	24,740	

◆産業中分類別工場数・従業者数・製造品出荷額 (昭和42年12月工業調査)

産業中分類	工場数	従業者数			製造品 出荷額 (千円)	主たる生産名
		計	常用労働者数	業主及び家族従業者		
食料品製造業	26	271	224	47	369,650	煮干、塩干、パン、菓子
衣服その他繊維製品製造業	5	42	37	5	10,080	婦人セーター、レインコート、婦人服
木材木製品製造業	7	29	22	7	59,160	製材、建具
出版印刷同関連産業	2	5		5	5,830	印刷
機械製造業	6	33	24	9	19,480	ボルト、ナット
輸送用機械器具製造	2	99	98	1	124,640	船舶機械、自動車部品
その他の製造業	1	16	16		5,000	
総数	49	495	421	74	601,840	



教 育

減少する生徒数

御宿小学校舎の完成により、教育施設の整備がほとんど終り、その環境ははすばらしいものとなりました。

出生数の減少にともない、児童生徒数は毎年減っており、昭和43年5月末現在の小、中学児童、生徒数は1,515人で昭和33年の最高年次より897人も減っています。

◆小・中学校職員児童生徒数

43. 5. 1. 現在

学 校 名	教 職 員 数			学 級 数	児 童 生 徒 数			校 長 名
	男	女	計		男	女	計	
御 宿 小	7	15	22	15 (1)	280	267	547	渡 辺 一 夫
岩 和 田 小	5	3	8	6	76	84	160	弓 北 哲 夫
布 施 小	5	8	13	8 (1)	127	119	246	江 沢 実
小 学 校 計	17	26	43	29 (2)	483	470	953	
御 宿 中	16	10	26	15 (1)	267	295	562	屋 城 多 萬 喜
合 計	33	36	69	44 (3)	750	765	1,515	

() 内は特殊学級数とする

◆学年別児童生徒数

43. 5. 1. 現在

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		男	女	合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
御宿小	47	38	39	42	49	45	49	52	45	41	51	49	280	267	547
岩和田小	9	12	11	13	16	14	16	10	10	22	14	13	76	84	160
布施小	17	13	18	15	20	26	20	24	29	17	23	24	127	119	246
小学校計	73	63	68	69	85	85	85	86	84	80	88	86	483	470	953
御宿中	84	101	93	95	90	99							267	295	562
合計	157	164	161	164	175	184	85	86	84	80	88	86	750	765	1,515

◆年次別児童生徒数

年次	御宿小学校	岩和田小学校	布施小学校	御宿中学校	合計
30	881	278	500	404	2,063
31	878	301	509	541	2,229
32	923	322	511	627	2,383
33	939	327	540	598	2,404
34	940	320	517	590	2,367
35	860	292	475	670	2,297
36	826	263	455	792	2,336
37	773	239	418	827	2,257
38	707	220	363	801	2,091
39	679	214	339	725	1,957
40	640	199	314	675	1,828
41	614	186	305	601	1,706
42	578	179	268	591	1,616
43	547	160	246	562	1,515





民生・衛生

幅広い事業内容

〈民生〉

恵まれない人々への援助、幼児の保育、青少年の健全育成など民生事業のはばは非常に広い。

昭和41年における生活保護世帯は51世帯で、保護人員 134人に対し、441万円の保護費が支給されています。

保育所は3か所で園児数は327人。

12人の民生委員が社会福祉の推進のため、また21人の青少年相談員が若人の相談相手となって活躍しています。

公衆衛生に全力

〈衛生〉

結核の無料検診、各種予防接種、はえ、かのく除など公衆衛生に力を注ぐとともに増大するゴミ、し尿の処理と真剣にとりこんでいます。

◆保 育 園

(昭和43年9月1日現在)

区 分	公私の別	所 在 地	園 長	保 母	そ の 他	入 園 児		
						総 数	男	女
御宿第一	公	久 保2180	1	4	1	90	40	50
御宿第二	公	新 町 419	—	7	1	117	52	65
岩 和 田	公	岩 和 田 926	—	8	1	120	57	63
計			1	19	3	327	149	178

◆御宿町における死因別死亡者数

(昭和42年分)

死 因 別	死亡数	死 因 別	死亡数
悪性新生物 (リンパ組織及び造血組織の新生物を含む)	14	胃 及 び 十 二 指 腸 の 潰 瘍	3
中 枢 神 経 の 血 管 損 傷	24	腎 炎 及 び ネ フ ロ ー ゼ	3
動 脈 リ ュ ー マ チ 性 心 臓 疾 患	7	精 神 病 の 記 載 の な い 老 衰 並 び に 診 断 不 明 確 及 び 原 因 不 明	22
そ の 他 の 心 臓 疾 患	21	そ の 他 の 全 て の 疾 患	3
肺 炎 (新 生 児 肺 炎 を 除 く)	1		
気 管 支 炎	4		
		計	102





進められる農林道整備

主要道路の整備、舗装と共に、今年は須賀実谷線芝谷林道など農林道の整備が進められました。

また交通量の増大に対処して信号機と歩道橋が設置されました。観光客の激増とともに、御宿駅の乗降客数は毎年大きく伸びています。

◆御宿駅乗客数

年次	乗車人員
昭和36年	631,971人
37	683,680
38	754,225
39	798,432
40	828,426
41	860,108
42	884,873
42年1月	68,903
2	65,080
3	71,047
4	63,243
5	66,518
6	68,957
7	99,662
8	113,494
9	67,269
10	65,826
11	66,191
12	68,683
計	884,873

◆電話加入者数

年次	加入者数
36	302
37	312
38	337
39	358
42	575
43	612

◆テレビの普及状況

年次	世帯数	台数	普及率
30	2,022	4	0.2%
33	2,024	20	1.0
35	2,047	241	12.0
38	2,050	1,454	70.9
42	2,084	1,798	86.3
43	2,096	1,915	91.3

◆諸車台数

車種	台数
小型三輪貨物自動車	10
小型四輪貨物自動車	204
普通・貨物自動車	20
普通乗用車	} 129
大型乗用車	
バス	4
軽自動車四輪乗用車	20
軽自動車四輪貨物車	122
軽自動車三輪貨物車	2
軽自動車二輪乗用車	26
小型特殊自動車(農耕用)	249
原動機付自転車(125cc)	113
" (90cc)	156
" (50cc)	551

◆道 路

(昭43. 2. 末現在)

	道 路 延 長				墜 道	
	総 数	国 道	県 道	町 道	箇 所	延 長
総 数	m	m	m	m		m
内 { 舗 装 道	88,148	4,403	4,387	79,358	13カ所	515
{ 砂 利 道	11,599	4,403	2,484	4,712		
{ そ の 他	76,549		1,903	74,646		



観光

すばらしい発展の勢い

おんじゅくは、外房を代表する観光地として年々すばらしい発展をつづけています。

		38 年	39 年	40 年	41 年	42 年	43 年
観光客数(人)	年間	249,000	344,000	396,000	534,000	743,000	
	夏季	220,000	287,000	344,000	461,000	668,000	765,000
旅館(軒)		9	8	8	8	10	13
民宿(〃)		—	—	51	54	94	122
貸家貸間(〃)		60	92	108	158	160	161
海の家(〃)		10	24	26	30	38	42
駐車台数(有料)		—	1,031	1,307	1,898	3,124	4,096
御宿駅の収入(夏季・千円)		9,996	17,355	19,591	30,757	34,295	37,717
観光収入(推計・千円)		185,650	223,627	249,300	254,150	283,020	
町の観光投入額(千円)		830	2,025	4,230	6,220	5,000	7,410

御宿の100年ダイジェスト

明治

- 元年 花房藩領す
- 3 花房藩寺子屋を開始(妙昌寺)
- 7 小学校を各部落に創立
- 13 六軒町に巡査駐在所設置
- 22. 4.1 町村制を布かる。須賀村、浜村、高山田村、久保村の四ヵ村は復古して御宿村の一村となる。行政区を分ちて須賀、浜、高山田、久保、新町、六軒町の六区とす
- 22. 4.23 村会議員12名を選挙
- 22. 5.11 岩瀬武司村長となる
- 22. 6. 須賀尋常小学校は御宿尋常小学校と改称、高山田簡易科は高山田分校と称す
- 22. 7. 1 区長以下の吏員を選挙
- 24. 2. 1 御宿尋常小学校舎を新築。久保、六軒町の二分場を廃止
- 24. 4. 御宿尋常小学校長佐藤弥治退職
- 24. 5. 伊藤龜一郎小学校長となる
▶漁業伊手網は揚繰網と代る
- 25. 4. 21 村会議員半数改選
- 25. 5. 御宿尋常小学校高山田分校を廃し、一村一校となる。11月高等科を併置
- 26. 5. 11 岩瀬村長再選
- 28. 1. 御宿小学校同窓会成る
- 28. 4. 23 村会議員半数改選
- 29. 12. ㈱夷隅銀行御宿支店開業
- 30. 5. 11 岩瀬村長満期退職
- 30. 5. 14 幸保長七村長となる
- 31. 3. 1 小学校々舎一棟新築
- 31. 4. 21 村会議員半数改選
- 31. 8. 10 岩瀬武司衆議院議員に選出さる
- 32. 7. 30 幸保村長辞す
- 32. 8. 8 滝口水右衛門村長となる
- 33. 8. 1 御宿郵便受取所を設置する
- 34. 1. 御宿村農会設立
- 34. 4. 21 村会議員半数改選
- 34. 10. 1 御宿実業補習学校開校し、伊藤小学校長同校を兼務す
- 34. 12. 20 御宿郵便局受取所は御宿郵便局と改称す
- 35. 7. 7 滝口村長辞す
- 35. 7. 29 式田啓治郎村長となる
- 35. 9. 10 御宿村巡査駐在所新築
- 35. 9. 28 大暴風雨あり、小学校舎全部

- 倒壊破壊す。各寺院等を教室に充つ
- 36. 6. 御宿村漁業組合設立
- 37. 1. 御宿村是を定む
- 37. 4. 21 村会議員半数改選
- 38. 7. 社会教育施設として御宿文庫創設さる
- 39. 8. 16 式田村長再選
- 40. 4. 21 村会議員半数改選
- 40. 5. 小学校建築資金蓄積のため毎戸に涉り日五厘日掛貯金開始する
- 42. 3. 1 電信開通し御宿郵便局に於て通信開始
- 42. 4. 18 御宿村須賀巡査駐在所を増置する
- 42. 6. 25 御宿村漁業組合専用漁業権を取得
- 43. 4. 21 村会議員半数改選
- 43. 8. 御宿村生産協会設立
- 43. 8. 15 式田村長満期退職
- 43. 8. 16 大谷巳之助村長となる
- 43. 11. 3 帝国在郷軍人会御宿村分会設立
- 44. 4. 6 町村制改正せらる
- 44. 11. 17 小学校基本財産蓄積条例定む

大正

- 元年 5. 小学校建設資金造成の毎日掛貯金は一日五厘を一銭に増額する
- 2. 4. 8 郷社春日神社饗幣帛料供進神社に指定せらる
- 2. 4. 21 村会議員総改選
- 2. 6. 20 国有鉄道開通し御宿駅を設置する
- 2. 8. 15 御宿小学校女子同窓会生る
- 1. 18 御宿村地主会創設せらる
- 3. 2. 18 浜大火57戸百余棟を焼失する
- 2. 12. 町内に電燈点火する
- 3. 4. 1 町政施行を許可せらる。同時に御宿町と改称し、大谷巳之助第一次町長となる ▶毎年4月1日を事務報告会の日と定む
- 3. 5. 1 御宿郵便局舎久保に新築移転する
- 3. 7. 44年より着手したる小学校舎新築工事成る。40年より積立られたる日掛貯金は本年七月を以て通計壹万五千元となる
- 3. 8. 25 大谷町長再選
- 3. 9. 28 郷社春日神社鳥居及び社務所

- の建築成る
- 3. 10. 1 旋風あり民屋数棟吹き倒さる
- 3. 3. 30 御宿実業補習学校学制を改め女子部を置く
- 4. 4. 赤樽町有原野に記念防風林植栽
- 4. 13 御宿町青年団創設す
- 5. 3. 12 公設消防組、組織成り4月14日認可
- 5. 3. 26 公衆電話開通し、通話事務開始せらる
- 6. 4. 21 議員数18名となる
- 6. 8. 9 伝染病「チフス」大流行、患者20有余名を出す
- 6. 9. 30 大暴風雨あり、家屋漁船の被害甚大
- 7. 8. 株式会社大野銀行御宿支店開店す
- 7. 8. 24 大谷町長満期退職
- 7. 9. 14 井上寅吉町長となる
- 8. 4. 久保、浪花村、岩和田間樞要里道改築工事成る
- 8. 4. 15 小学校長伊藤龜一郎奏任官を以て待遇す
- 9. 1. 郷社春日神社造営費の蓄積を日掛により開始せらる
- 9. 4. 1 久保、浪花村岩和田間里道は郡道に認定せらる
- 9. 8. 郷社春日神社苑工事成る
- 9. 10. 26 本町、東村間郡道を県道に認定せらる
- 9. 11. 3 御宿町会に於て町内 128線外全部の道路を町村道に認定の件決せらる
- 10. 4. 11 町村制改正
- 10. 7. 1 一宮本郷区裁判所御宿出張所を設置し、登記事務開始する
- 10. 8. 新川橋架換工事成る
- 11. 2. 26 基本財産、小学校基本財産蓄積条例改正
- 11. 3. 20 御宿町兩離病舎落成
- 11. 9. 13 井上町長満期退職
- 11. 9. 21 神定新吉町長となる
- 11. 10. 30 ツツ子祝に関する規約を設け本年より実施
- 12. 4. 1 御宿停車場岩和田港線郡道を県道に編入
- 12. 7. 18 御宿町消防組設備訓練優秀にして千葉県より金馬簾一条の使用を允許さる
- 12. 9. 1 関東大震災。町民の東京その他の地に於て惨死者8名

- 12.9.2 戒厳令布書。大洪水新川橋外三橋押流さる
- 12.5.30 御宿町商工会創立す
- 13.2.29 御慶事記念事業として役場庁舎造営の件満場を以て決議さる
- 13.4.5 役場造営の工を起し9月2日落成す
- 13.9.4 役場位置変更許可せられ同月8日より新庁舎に於て事務を開始す
- 13.10.10 御宿町外三ヶ村(御宿町、布施村、浪花村、豊浜村)実業補習学校組合会議を本町役場に開会す
- 13.11.1 御宿町立御宿高等実業補習学校は御宿町外三村実業補習学校組合に移管する
- 13.12.7 御宿町役場新築落成式御宿町外3村組合立実業補習学校開校式を挙行
- 14.2.11 町長神定新吉町村自治功勞者として千葉県知事より表彰せらる
- 14.3.5 町会議員定数条例を定め議員定数を18人とする
- 14.4.18 久保布施線町村道延長三百間の改修工事を決議す
- 14.6.19 庁舎前に大蘇鉄樹を運搬移植を了す
- 15.1. 第1回新年名刺交換会開催せらる ▶久保布施線町村道の一部開通
- 15.4.1 御宿高等実業補習学校は御宿実科学校と改称の件許可せらる
- 15.7. 町村制を改正
- 15.9. 伊藤小学校長満鮮支那出張を命ぜらる
- 15.9.21 神定町長再選
- 15.10. 停車場清水川線道路開通
- 15.8 狂犬病流行
- 15.12.31 清水川橋架替成る

昭和

- 2.2.7 部田に電燈点火す
- 2.4. 小学校教室不足を告げ久保事務所に一部生徒を収容
- 2.6. 郷社春日神社々殿の大修繕工事落成
- 2.8.5 高山田に電燈点火す
- 2.7. 近衛工兵大隊の手にて部田小沢地先墜道通す
- 3.2.27 御宿、勝浦間、御宿岩和田自

- 動車開通
- 3.3.15 千葉県御宿実科高等女学校設立を文部大臣より認可せらる
- 3.4.5 実科学校新築落成
- 3.4. 御宿町消防組織変更さる
- 3.4.19 小学校校長伊藤鬼一郎退職し、後任に千葉県女子師範学校訓導吉野紋蔵任せらる
- 3.5.16 御宿漁港修築工事の件、町会に於て決議せらる
- 3.5.21 漁港修築に関し御宿町と御宿町漁業組合との相互契約成る
- 3.6.29 浅間神社土鳥居建立落成
- 3.8.9 夏季大旱害のため農作物大減収
- 3.10.4 大正六年以来の大洪水、郷社神苑地破壊さる
- 3.11.14 宇浦中海岸防風林造成防風施設工事着工
- 3.12.18 停車場布施村間乗合自動車開通
- 5.4.1 公認遠山自動車学校開校
- 5.5.31 漁港起工式を挙ぐ
- 5.6.20 御宿町海水浴倶楽部成り浴客迎接事務を御宿商工会より引継ぐ
- 5.9.21 神定新吉三度町長になる
- 5.11.18 漁業主対漁会漁夫間給料問題に町長調停
- 5.12.20 六軒町地内道路工事竣成
- 6.4.10 元吉亮小学校長となる。同日組合立御宿実科学校長、千葉県御宿実科高等女学校長に兼任
- 6.5.7 失業救済資金の起債許可せらる
- 6.9.27 稀有の大洪水、浸水家屋150戸。野作山野の被害無数、新川橋、漁り橋押流さる
- 6.11. 浅間橋開橋
- 7.4.27 神定町長県町村長会より表彰さる
- 7.5.5 新川橋、漁り橋竣工
- 7.6.30 消防組第二部、第三部、第四部備付としてガスリンポン三台購入、条一部鉄骨火の見橋落成
- 7.9. 御宿港第二回工事落成
- 8.1. 下旬より数日連続鱈大漁
- 2.11 御宿町消防組設備訓練優秀に付金馬簾三条の使用を允許せらる
- 8.3.2 三陸大地震津波の被害甚大
- 8.4.8 町村制施行20周年記念祭を挙行
- 8.7.29 5月より稀有の旱魃に際し雨

- 祈祭を行う
- 8.12.21 郷社春神社神橋竣工遷宮式を行う
- 9.4. 御宿漁港竣工
- 9.5.13 御宿小学校児童保護者会設立
- 9.9.31 神定町長満期
- 9.10.3 神定新吉四期目町長となる
- 10.2.11 大日本国防婦人会御宿分会創立 ▶御宿消防組は甲種金馬簾四条の使用を允許さる
- 10.5. 海岸産業道路成る ▶小学校前通道路側溝工事完工 ▶小学校増築工事成る
- 10.6.8 農繁期託児所を開設
- 10.7.10 御宿青年学校開校
- 10.9.8 新町に赤痢患者4名発生
- 11.3.15 鉄筋コンクリート造新川橋竣工開通
- 11.4.15 須賀巡査駐在所を字前清水川に移転
- 11.6.8 豊浜村部原第1墜道附近の崖崩れ機関車乗りあげ本町消防組員出勤復旧作業に従事
- 12.2.11 消防組金馬簾第5条の使用を允許せらる
- 12.4.16 豊浜村学校組合を脱退し、御宿町外2か村学校組合と改む
- 12.9.20 馬糞として干草を出荷
- 13.1.8 農会により軍事用梅干を集めて出荷
- 12.2.13 小学校庭に恩師伊藤鬼一郎先生の銅像を建設
- 13.7.21 賀陽若宮殿下陸軍幼年学校生徒と共に御成遊
- 13.10.28 武漢三鎮完全に占領したるを以つて午後より提灯行列を行う
- 15.2.11 小学校に於て紀元2,600年祭の式典を挙行
- 16.8.31 御宿実科高等女学校増築工事竣工
- 17.5.3 御宿町三業組合設立
- 17.10.8 御宿町役場敷地内に防空監視台を建設し本町出身前田皆治氏の寄附による「サイレン」を据え付け警報に備える
- 20.5.16 午前、午後の2回に亘り敵機本町上空に襲来し女学校外2、3の家屋に機銃掃射したるも被害なし
- 20.8.15 戦争終結
- 20.12.12 井上文吉御宿町長に就任
- 20.12.29 国民学校に於て御真影返納式を挙行

- 20.4.10 衆議院総選挙、本選挙に於ては女子にも男子同様の権限を認められる
- 22.3.31 御宿実業高校を廃校する
- 22.5.3 町村制廃止され新に地方自治法施行
- 22.8.24 御宿町消防団の結成式を行う初代の団長に幸保理一氏就任
- 22.11.27 御宿町警察署設置 ▶初代の署長に警部補高田半藏就任
- 22.12.11 新制中学校敷地地均工事を町民の奉仕により向3ヶ月の予定で始める
- 23.3.31 御宿町家政高等学校認可する
- 23.6.12 御宿町船溜災害復旧工事竣工
- 23.8.20 警察庁舎落成
- 23.9.16 アイオン台風襲来にて建築中の新制中学校舎一棟倒壊し、その他各学校の建物被害甚大
- 23.11.27 町会に於て御宿町公民館設置の件を議決
- 24.6.13 御宿町生活協同組合認可する
- 24.7.31 御宿町新制中学校舎及附属建物全部完成
- 25.3.27 高等学校3か村組合の解散式を行う
- 25.4.18 夷隅高等学校県立移還祝賀会を開催
- 25.11.16 御宿町火葬場設置
- 26.7.21 ベルギー貨物船ルーベンス号「6,700トン」大豆積載、岩和田田尻岬沖に於て座礁す。船長外40名は無事救助された
- 26.9.8 自治警察署を廃止することの住民投票を行う
- 26.9.30 御宿町自治警察署の閉庁式を挙行
- 27.3.6 御宿町消防団は知事より表彰される
- 27.4.6 御宿町消防団旗購入これに対して入魂式及披露式を行う。
- 27.8.15 新町、六軒町の両区地番の改正
- 27.10. 御宿町公民館創設
- 28.5.5 御宿町保育園の閉庁式
- 30.3.30 町村合併促進法に基き、御宿町は解町
- 30.3.31 町村合併促進法に基き、御宿町と浪花村の一部(大字岩和田)布施村の一部(大字七本、実谷、上布施)が対等合併し、新御宿町が誕生
- 30.5.18 新御宿町長井上文吉氏就任
- 30.5.22 町村合併に基き、布施、岩和田を統合し新御宿町消防団を結成、初代団長に君塚俊就任
- 30.12.15 町営住宅を建設
- 31.10.10 中学校舎落成式を挙行
- 32.1.24 夷隅高等学校講堂新築落成
- 32.3.1 国民健康保険制度を創設
- 33.4.8 中学校舎増築工事完了
- 33.11.27 日西墨交通発祥記念碑改修工事完了竣工式典を挙行
- 34.2.16 消防団は大日本消防協会長より表彰せらる
- 34.3.1 町営バスの通行開始。保育園児、小学校、中学校児童生徒の送迎をなす
- 34.3.7 消防団は知事より功労旗を授与せらる
- 34.3.28 岩和田小学校舎増築工事竣工
- 34.11.24 豪雨により河川の氾濫、耕地の冠水、土砂崩壊、道路の決壊、床下床上浸水家屋多数あり
- 36.4.1 有線放送新設工事竣工、同時に放送開始
- 36.5.23 大雨のため須賀町営住宅附近清水川氾濫
- 36.6.30 中学校校舎増築工事竣工
- 37.3.7 知事より消防団優良竿頭級及表彰状を授与する
- 37.8.25 小学校前通り舗装工事は大場善藏氏の寄附により完成せられこの道路を大場通りと称す
- 38.6.29 御宿駅は大正2年6月開業50周年を迎え記念式典を挙行
- 39.4.30 新しい機構のもとに御宿町観光協会発足。初代会長に金井英一氏を選出
- 39.10.1 岩瀬国松氏奨学資金として町に100万円寄附す
- 39.11.17 御宿漁港竣工
- 40.2.21 本町消防団日本消防協会より表彰旗を受与された
- 40.2.21 久保丸山地先にじん芥焼却場完成
- 40.3.31 町村合併10周年式典を挙行。町章制定、創作者六軒町藤江真一氏
- 40.4.1 夷隅高校御宿校舎独立し、千葉県立御宿家政高等学校となる。
- 40.4.30 御宿中学校体育館竣工
- 40.7.8 町政懇談会を各区事務所に於て開催
- 40.8.25 岩瀬国松氏道路建設資金として町に100万円寄附す
- 40.11.3 町長井上文吉氏自治功労者として、勲五等斐光旭日章受賞
- 40.11.30 町主催による戦没者慰霊祭を挙行
- 40.12.23 御宿家政高校学級定員増決定
- 41.1.1 御宿、布施農協合併により、新御宿農協発足、初代組合長神定喜一氏
- 41.2.23 浜区青年館落成
- 41.2.25 上布施区、新久井青年館落成
- 41.2.28 町長井上文吉氏全国町村会長より再度表彰される
- 40.3.28 おんじゅく広報及本町書記滝口栄蔵氏、県広報コンクール大会に於て、各1位に入賞し知事より表彰される
- 41.4.1 消防合理化により、第4、第5分団及第8、第9分団統合し新に第4、第8分団発足
- 41.4.29 春の叙勲により、岩和田漁業協同組合長水上甚八氏は漁場開発功労者として、勲五等瑞宝章、浜椎名潔氏は伝染病予防功労者として、勲七等青色葉章受賞
- 41.4.30 漁民住宅竣工
- 41.5.26 夷隅郡5町共同し尿処理場落成
- 41.8.6 御宿ブルース発表会
- 41.8.15 御宿音頭発表会
- 41.11.13 浜青年館チーム第1回県青年館親善バレーボール県大会に於て優勝
- 41.11.22 日西墨交通発祥記念碑が県教育委員会より県文化財(史跡)として指定される
- 42.2.11 16年ぶりの大雪に見舞われる
- 42.4.1 商工観光課を設置
- 42.5.14 町長井上文吉氏任期満了により退任する
- 42.5.15 岩井敏夫氏町長に就任
- 42.7.9 本日本午前零時より電話がダイヤル式となる
- 42.11.25 御宿小学校校舎落成
- 42.12.18 前町長井上文吉氏名譽町民に推挙される

町民の生活



人口 8,564人 1世帯 4.1人



出生 3日に1人



婚姻 1.7日に1組



町税 1人 年4,230円



死亡 3.6日に1人



離婚 1年に17組



1年間のタバコ
消費本数 1,695万本



普通郵便差出 1人 年294通
受取 1人 年409通



転入 1.1日に1人



小売店 13世帯に1軒



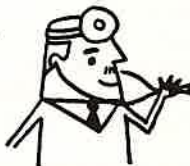
御宿駅乗客 1日 2,424人



転出 1日に1人



テレビ 1世帯に1台



医師、歯科医師 856人に1人



役場職員 町民 162人に1人



病院、診療所 952人に1施設



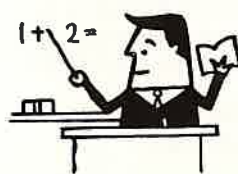
警官 4,282人に1人



消防団員 町民31人に1人



児童生徒 1.4世帯 1人



小中学校教員 生徒22人に1人



消防車 234世帯に1台

発行所

乗原御宿町役場

編集者
発行責任者

岩滝 井口
敏栄 夫藏